

看護大通信

63



基礎看護学領域

教授 堀 良子

私は以前この看護大通信に、上越に縁のある看護界の先駆者「大関和」のことを書きました。この記事がきっかけとなり、郷土史研究家で医科史の編纂などを手がけられた故森川政一氏

「日本赤十字篤志看護婦人会」について(その一)誕生の背景

川政一氏

少させ有名になりました。

その後、1860年にロ

ンドンの聖トーマス病院

に看護婦学校を設立し、

教育にあたるとともに、

「病院覚え書」や「看護

覚え書」などの著作を著

し、看護の体系化と看護

日赤篤志看護婦人会につ

いて紹介したいと思いま

す。

歴史は1850年代に

廻ります。1854年、

F. ナイチンゲールがク

リミア戦争で兵士の栄養

状態を改善し、細やかな

看護で死亡率を大きく減

た。

近代看護の始まりはこ

のように戦病者看護に端

を発し、1862年には

アンリ・デュナンにより、

人道主義に基づく敵味方

に関係ない戦傷者救護を

趣旨とする国際赤十字社

が創設されました。日本

た。こうして専門教育を受け、職業として自立した看護婦が誕生しまし

先んじて、上流貴婦人で構成される篤志看護婦人会を結成しました。会の設立趣旨は戦時救護活動の奨励とともに、女性に

看護の有用性を啓発する

ことでした。皇室と軍部

の保護を背景に、後に組

織する日赤救護看護婦の

イメーჯアップを図るね

らいもありました。18

90(明治23)年に日赤

は救護看護婦の養成を開

では、遅れて1887

(明治20)年、西南戦争

の際に負傷者の救護活動

を目的として結社された

博愛社が赤十字条約に加

盟し、日本赤十字社と改

称しました。

同年、日本赤十字社は

て軍医があたりました。

国家庇護により予算は潤

沢で教育年限も他より長

く、卒業後は戦時におい

て患者を看護するために

招集される仕組みのもと

に、他の養成所とはその

性格において一線を画し

始し、その指導には主とし

もとに、3回に分けて、

婦養成の基礎を築きまし

救護看護婦の養成に一步

ていました。(続く)